

進路指導室へようこそ

前橋女子高校進路指導部

令和5年度 MJ 進路通信 第14号

令和5年7月20日(木)発行

■終業式での講話概要(保護者の皆様もご一読ください)

本日をもって1学期が終了。明日から夏休みになりますが、夏休みの学習への取り組みについていくつか話をします。まず夏休みの一番の意味は「授業が一旦止まる」ということです。この1学期、授業の内容について、まだ理解が不十分だったところがあると思います。まず1学期の学習内容について、しっかり復習する時間があるというのがポイントです。そのために用意されたのが「補習」と「課題」。まずこの2つを全力で取り組むことで1学期のやり残しを仕上げましょう。

1年生へ。高校に入って3か月。中学とは異なる授業の進度やレベルに戸惑った人も多かったと思います。また、レベルの高い集団の中で自信を無くしかけている人も少なくないと思います。一旦ここで緊張した心をリフレッシュして、自分の目指すレベルに応じて、自分のリズムで学習を進めよう。だけど、3か月たって今この場にいるということは皆さんもきちんとレベルアップしていることは間違いのないことです。前女という集団のなかで一緒に学ぶことで、皆さんは知らず知らずのうちにレベルアップしています。自信をもって、そして、高い目標をもってこの夏を過ごしてほしい。

2年生へ。高校生活にも慣れてきた今、この夏休みは皆さんが大きく飛躍するポイントになる1か月です。そのキーワードは「自分の進路目標をきちんと定めること」です。ただ何となく課題をこなすのではなく、「将来自分は何になりたいのか、そしてそのために今何をすべきか」をしっかり考えて計画を立ててほしい。将来の夢は突然空から降ってくるわけではありません。自分で調べて、目で確かめて、自分の夢をしっかり見定めてほしい。目標をもつとこんなに前向きになれるんだ、ということを実感してほしいと思います。

そして、1・2年生にはぜひ「勉強だけの夏休み」にはしないでほしい。部活動もちろんですが、自分の視野を広げるためにいろいろな活動に主体的に取り組んでほしい。MJキャリアプラスの取り組みはどうですか？インターンシップやボランティア、資格取得など、自分の目標に繋がるキャリアアップができるのもこの時期です。先日PTA講演会に来てくれた卒業生も、時間を見つけてさまざまな活動に取り組み、入試での自己PRに活かしていました。人としての器を広げる夏休みにしてほしいと思っています。

3年生へ。これから始まる夏休みには期待より不安

の方が大きいかもしれません。ですが、あまり欲張らず、時には引き算も実行して達成感が味わえる夏休みにすることが大切です。自分が成長している実感は、なかなか味わえないかもしれませんが、前女での生活はいわば「快速列車に乗っている」ようなもの。自分ではそれほど動いたつもりはなくても「前女号」という列車と一緒に乗っているだけで着実に目的地には近づいています。だから、大事なのは「途中下車をしないこと」。この列車は志望校の「最寄駅」までは皆さんをちゃんと運んでくれます。夏休みの目標はみんなと一緒に「最寄駅」まで乗って行くこと。もちろん、最寄駅からの道のりは人それぞれ。カーブがあったり急坂だったり。そこを走って行くのかゆっくり歩くか、時には一旦駅まで戻るか、それを決めるのは君達自身です。2学期になり、最寄駅から目標地点までしっかり歩みを進めることができるように、この夏は登坂車掌の運転する列車にしっかり乗っててください。



夏休みにはなりますが、先生方もさまざまな場面で相談に乗ってくれたりアドバイスをしてくれるはず。うまくいかないな、と思ったら遠慮なくいろいろな先生に相談してみてください。元気な顔で始業式を迎えられることを期待しています。

■夏休み中の進路行事

・医学科小論文講座(7/23)

2、3年生の医学科志望者を対象に、代々木ゼミナールの小論文講師を招き、小論文の書き方についての講座を行います。受講後は個別添削の指導もついています。

・1年生対象東大セミナー(8/27)

1年生の難関大志望者を対象に前女会場で開催されます。現役の東京大学の学生(本校の卒業生も来てくれます)に「大学とはどういうところか」「東京大学の魅力はどこにあるのか」などについて情報交換ができます。他校の生徒との交流もできます。

・東北大生との懇談会(8/10)

3年生学習会の企画の1つとして、本校OGで現在東北大1年の先輩に懇談会をお願いしました。経済・理・工・医学部の先輩(予定)に、大学の様子や受験時の体験などを話してもらう予定です。学習会に参加しない生徒や飛び込みの聴講も可能です。

■卒業生からのメッセージ

奈良女子大学工学部1年 Kさん

皆さんこんにちは。前女時代はバドミントン部に所属し、大変ではありましたが楽しい毎日を過ごしていました。たった数か月前のことなのに前女での生活が懐かしく思い出されます。遠い奈良の地でも楽しい毎日を過ごしているので、大学受験に向けて頑張っ勉強している前女生の皆さんに大学生活の様子を紹介していきたいと思います。

〈大学の様子〉

・大学の敷地内に鹿がいま
す。草を食べていたり、座り
込んでいたり。曲がり角を曲
がってばったり出会うのは、
イケメンではなく鹿です。
・学食が美味しい！日本一



を謳っているみたいです。食堂とカフェがあって、ランチセットは日替わりメニューです。大学生協のツイッターで1週間のメニューや写真が出ているので、気になったら見てみてください。夕飯も食べて帰ったりテイクアウトしたりすることもあります。

・大学の寮は結構人気です。選考に落ちた私は入学式前後の数日間はホテル生活をする羽目になりました。

・当然ですが、女子ばかりです。優しく面白い人ばかりで、前女と似ているなーと思いながら日々過ごしています。前女生活を続けたい方にはおすすめです。教授を推している人にはまだ出会えていませんが。カレシはインカレサークルかバイトでつくるのかな？

・工学部1回生は48人と少人数ですが、群馬出身は3人で意外と多かったです。埼玉や栃木の人もいます。とはいえ大多数が大阪や奈良といった関西圏の出身なので、教室では関西弁が飛び交っています。

〈特色のある授業内容〉

私が所属しているのは工学部工学科です。学年が上がっても専攻が分かれることはなく、卒業するまで工学科です。いろいろできる、と言えば聞こえはいいですが、やらなければならないことが多い、とも言えます。1回生は必修でほぼ授業が埋まります。デザイン系や情報系の授業や数学や理科の授業もあります。第二言語も体育も必修です。講義系の授業は2単位ですが、実習系や語学は1単位しか貰えないので必然的に授業数は増えます。毎日1限目からあるのが大変です。起こしてくれる親はいないので必死に起きていますが、朝から駅前を爆走する羽目になることもしばしば。

入学当初は、後期入学だったので少しは余裕のある大学生活が送れるかな、なんて呑気なことを考えていましたが、実際はそんなことは全くなく、周りはレベルの高い人たちばかりなのでついていくのに必死です。そんな

ところも前女と似ているなと思います。

ここで、私の前期の時間割と、特色のある授業のいくつかを紹介します。授業は1コマ90分です。1年を前期と後期に分けてさらに前半と後半に分けているものもあります。前期前半、後半という概念は他大にはあまりないみたいです。さらに長期休みには集中講義なるものがあるらしいです。ちなみに私が今取っている授業はほぼ必修です。

	月	火	水	木	金
1	化学基礎(前半) 生体基礎(後半)	プラクティカル・ イングリッシュ	情報処理入門 I	創造とデザインの 理論(前半) 物理基礎(後半)	コンプリヘンシブ イングリッシュ
2	電子工学	健康運動実習	批判的思考 I (心理学)	自己 プロデュース I	バサージュ (触り心地)
3	ドイツ語 1A	プログラミング 基礎	奈良女子大学 入門	ドイツ語 1B	造形基礎演習 I
4		プログラミング 基礎			価値創造体験 演習(PBL)
5	批判的思考 I (歴史学)	微分積分(前半) 確率統計(後半)			

・批判的思考：文系分野から工学を批判的にみる、みたいな感じの授業です。前期前半は心理学をとりました。一緒に授業を受けるのは8人と、超少人数授業です。ゼミみたいな感じですが。心理テストみたいな心理学ではなく、本を読み解きながら“コンヴィヴィアル(ちょうどいい)”なテクノロジーについて考えました。前女でも科探でクリティカルシンキングとかやったなーと思いつつ。私たちの発言に対して教授がいろいろな話をしてくださるのも面白いです。前期後半は歴史学をとっています。

・自己プロデュース：キャリア教育の授業です。講師は女性自衛官のパイオニアで高校の校長の経験もある、とにかくアクティブですごい人です。内容は様々ですが、この前はジェンダー問題についてディスカッションしました。自己プロデュースの授業に限った話ではありませんが、学部の仲間と深い話までできて面白いです。そんな考え方もあるのか、と驚かされます。

・造形基礎演習：まさかのほぼ美術な授業がありました。デッサンしたり椅子を作ったりといった感じです。工学部でこういった授業があるところはかなり珍しい(日本で唯一??)らしいです。高校では音楽選択でしたし、画伯で不器用な私は美術から逃げてきましたが、先生方に助けてもらいつつ何とか頑張っています。すぐに先生に見てもらえるのが少人数教育の良さです。

前女から奈良女に進学する人は少ないですし、奈良女の知名度は群馬では低めなのかなと思いますが、工学部工学科というかなりレアな学科がありますし、とても素敵なおところなので1つの選択肢として頭の隅に置いてもらえたら嬉しいです。

(東大寺大仏殿のすぐ近く。修学旅行で京都・奈良を訪問する前女生には以外に身近な場所かもしれませんね。)